

## IV 工夫と連携で産業が 躍動するまち

# 南風原産品を創り伸ばす農業の振興

## 農業委員会運営事業

(担当:経済建設部 農業委員会 局長:松本 仁志)

### ○農業委員会運営事業

1,245万円

農業委員会とは、「農業委員会等に関する法律」に基づいて市町村に設置が義務づけられている行政委員会、農業者と団体等の代表によって構成されている公平・公正な農業委員会です。主な業務は、毎月農業委員会総会(会議)を開催し、農地法に基づく許可申請、届書等の審査や、農地と農家の実情把握、農家相談、農地の利用・権利関係の調整等を行っています。

また農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、重点業務である「農地等の利用の最適化」(担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進のために「農地利用最適化推進委員」が置かれています。

1. 農業委員・農地利用最適化推進委員報酬(16名)

713万円

2. 会計年度任用職員報酬(1名) 213万円

3. 旅費及び費用弁償 222万円

毎月開催される農業委員会総会や、農地の調査・研修およびパトロール等における交通費として支出しています。



▲農地パトロールの様子

4. 会長交際費 2万円

5. 需用費 13万円

農業者年金の普及推進用のパンフレットや認定農業者への情報提供活動(全国農業新聞購読料)として支出しています。

6. 役務費 9万円

遊休農地意向調査票、農業者年金案内の郵送代として支出しています。

7. 委託料 65万円

農地等総合管理システム保守・機器保守の委託料として支出しています。

8. 各種負担金 8万円

沖縄県農業会議負担金、南部地区農業委員会会長会負担金、沖縄県農業委員会等職員協議会負担金として支出しています。



▲農業委員会総会の様子

# 南風原産品を創り伸ばす農業の振興

## 農業振興地域整備計画策定業務

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

### ○農業振興地域整備計画策定業務に係る経費

248万円

農業振興地域制度は、総合的に農業の振興を図るべき地域を定め、その地域の農業上の有効利用と発展のために施策を計画的に推進することを目的とした「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて、農業生産の基盤である農用地等の確保を図るための基本となる制度のことであり、農業振興地域には「農用地区域」が定められています。

この「農用地区域」の土地を農業以外の目的に利用するためには、前述の法律に基づき事前に農用地区域から除外する整備計画の変更が必要になります。

そこで照屋地区の区画整理事業に伴い、令和4年度から令和5年度にかけて計画の一部見直しを実施します。



▲照屋地区農業振興地域

## 地力増強対策事業

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

### ○地力増強対策事業

300万円

農産物の生産を増やすため土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くするための事業です。本町では、農家が農協等から堆肥を購入する際に、その費用の一部を補助します。

主な経費

堆肥購入 300万円

※一袋(15kg)に対し50円の補助



▲地力増強のため購入した堆肥



# 南風原産品を創り伸ばす農業の振興

## 多面的機能支払交付金

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:仲里 明)

### ○多面的機能支払交付金

101万円

地域共同で行う水路、農道等の維持管理活動等に支援を行います。(農業・農村の有する多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金)



清掃状況①



清掃状況②

1. 今年度の事業内容 事業費 82万円  
《収入》 国庫・県補助金 : 61万円 一般財源 : 21万円  
《支出》 地域への補助金 : 82万円  
※ 財内訳:国補助50%、県補助25%、町費25%

2. その他の経費 19万円  
・プロッターリース料やトナー費用等活動報告に係る事務費となっています。

# 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

## 住宅リフォーム支援事業

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:仲里 明)

### ○住宅リフォーム支援事業

200万円

南風原町民が、自己の居住する個人住宅の質の向上を目的に町内の施工業者を利用して行うリフォーム工事に対して補助金を交付する事業です。

対象工事は、バリアフリー改修工事、省エネ改修工事、耐久性を向上させる改修工事、テレワークの推進改修等の工事等です。20万円以上の工事が対象で、補助率は20%、補助金の上限額は20万円となっております。



## 商工会の育成強化

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

### ○商工会の育成強化

1,680万円

#### 1. 南風原町商工会補助金 680万円

商工会は、地域の商工業の振興と住みよい地域づくりのため、町内の商工業者によって組織された総合的経済団体です。指導団体として、その地域内にあるすべての商工業者について、公正な立場から地域商工業の総合的な改善や発展を図り、社会一般の福祉の増進に取り組んでいます。活力ある魅力的なまちづくりに寄与している町商工会に対し、町も補助金を支出しています。



↑ ルンルンはえばるフェスタの様子



↑ 事業計画作成セミナーの様子



## ~~~~~ 南風原町商工会の主な仕事 ~~~~~

- 金融相談: 中小規模企業にとって事業資金の確保は、経営上一番重要な問題です。融資を申込み際、依頼する適当な保証人がいないうえ、自己の担保能力も乏しいというのが実態です。そこでこのような経営基盤の弱い小規模企業のために、国や県などの、低金利で安心して借りられる各種融資制度の利用相談、指導を行っています。
- 税務・経理相談: 収入や支払い、税金などの記帳を正しく理解し、帳簿の数字に基づく近代的経営を推進していただけるよう、記帳から決算まで一貫した継続指導を行っています。
- 経営相談: 企業の体質改善・経営強化などで困っている小規模企業の経営相談に乗り指導・助言を行います。
- 労務相談: 労働力の確保・定着のために、職場環境改善や就業規則、給与規定の作成指導など、その他社会保険・労働保険の事務手続きについてのご相談にも応じています。
- 創業支援・経営革新支援: 新規に事業を始めようとする人に対する事業計画及び融資の相談又、現在の事業拡大や新たな事業を創出するための相談・指導を行います。

### 3. 南風原町商工会貸付金 1,000万円

南風原町商工会は、国、県、町の補助金や会員による会費などで事業運営を行っています。しかし、補助金や会費は全額が年度始めに入ってくるわけではありません。事業を運営するためにもまとまった資金が必要であり、その間の運営資金として町商工会へ貸付を行います。なお、貸付金は、年度内に全額町にもどってきます。

## ふるさと博覧会補助事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

### ○観光事業

800万円

#### 1. ふるさと博覧会実行委員会補助金 800万円

南風原町が排出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町に誘導するため、南風原町が排出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベントを実施します。光協会に対し補助をしています。



↑ 司会 & はえるん



↑ 伝説芸能



↑ 琉球かすりの女王

# 地域の連携で創る観光の振興

## 観光事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

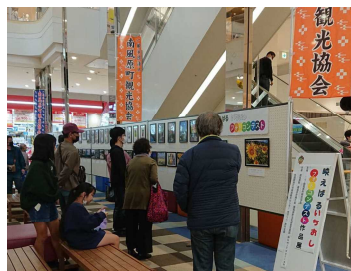
### ○観光事業

2,810万円

#### 1. 南風原町観光協会補助金 1,239万円

南風原町の観光振興のため、一般社団法人南風原町観光協会に対し補助をしています。  
南風原町観光協会は「魅力があり、人が集まる地域が潤うまち」を目指して活動しています。

#### 【主な事業】



##### ・フォトコンテスト作品展

新型コロナウイルス感染症拡大の中でも開催できる事業としてフォトコンテストのイベントを行い、はえばるフェスタにて展示会を行いました。



##### ・観光協会 HP、SNS 等

町の情報を発信するため、観光協会ではホームページのほかユーチューブ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックを運営しています。魅力たっぷりの南風原町を紹介しており、アクセス数も年々増加しています。



#### 2. 陸軍病院壕公開活用事業委託料 504万円

町の平和発信の拠点として整備した陸軍病院壕に県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用に取り組んでいます。

壕見学の様子 →



#### 3. シマじまガイド事業委託料 1,052万円

着地型観光メニューとして「シマじまガイド」を実施し、地元の魅力を伝えていく事業です。

糸かけアートイベント →



#### 4. その他の経費(消耗品、負担金等) 15万円

## ヒーローのまちづくり事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

### ○ヒーローのまちづくり事業

744万円

#### 1. ヒーローのまちづくり事業委託料 744万円

南風原町が排出した人材の功績を継承すると共に、観光客を本町に誘導するため、南風原町が排出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベントを実施します。光協会に対し補助をしています。



↑ ヒーロー展



↑ 劇団海公演

## 観光PR促進事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

### ○観光PR促進事業

432万円

南風原町のイメージキャラクター「はえるん」を観光PRツールとして有効活用し、各種イベントやマスメディアへのPRを始め、観光施設、町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をし、南風原町の観光振興に繋げていきます。

主な経費

観光振興会計年度任用職員報酬、手当、費用弁償 432万円



↑ クリスマスケーキ贈呈式



↑ 完熟カボチャ出荷報告式



↑ SNSひなまつりde間違い探し企画



# 地域の連携で創る観光の振興

## 黄金森公園スポーツ施設活性化事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

### ○黄金森公園スポーツ施設活性化事業

1,807万円

良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により観光と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため、黄金森公園スポーツ施設の機能強化と受入体制の整備を行います。

陸上競技場及び野球場の芝生を専門的な知識・技術の元管理し、良好なフィールドを整備します。Jリーグキャンプや県外大学の陸上合宿の誘致及び町内外各種団体のスポーツ大会などを良好な環境でサポートします。また、スポーツキャンプ実施が円滑に行えるよう各種備品を整備受入体制を強化します。

#### 主な経費

黄金森公園芝生管理委託料 1,485万円

工事請負費(野球場グラウンド整備) 91万円

備品購入費(パイプフェンス、グラウンドレーキ等) 231万円



【芝生管理の様子】



【管理された芝生の状況】



【名古屋グランパス春季キャンプ】



【トレーニング風景】

# 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

## 琉球絣等伝統工芸事業

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

### ○琉球絣等伝統工芸事業

1,987万円

#### 1. 琉球絣後継者育成事業補助金 38万円

琉球絣事業協同組合が開講する後継者育成事業に対して補助しています。

後継者育成事業は琉球絣を製作する工程の中で織りを担当する織子の養成を行っています。

※この事業には国・県も補助し琉球絣事業協同組合も負担しています。

■研修内容 : デザイン、括り、染色等の総合的学習(技術者養成)

■研修期間 : 令和4年7月～令和5年2月(予定)(土日祝祭日休み)



↑ 令和3年度後継者育成事業研修生



↑ 令和3年度後継者育成事業研修生作品

#### 2. 琉球絣事業協同組合への補助金 308万円

南風原町の特産品である琉球かすりの振興を目的に、琉球絣事業協同組合が行う、研修・派遣事業・販路開拓宣伝活動・展示即売等の経費に対して補助しています。



■琉球かすり会館／Tel889-1634

■開館時間／月～土 9:00～17:30

日・祝祭日閉館

※琉球絣の反物、バッグ、ウェアなども販売しています。

お気軽に足をお運びください。

#### 3. 伝統工芸ふれあい広場事業への負担金 23万円

沖縄県と沖縄工芸ふれあい広場実行委員会が主催する、県内各産地の伝統工芸品を展示紹介し、需要の開拓、販路拡大を図る「沖縄工芸ふれあい広場」事業に対しての負担金です。

「沖縄工芸ふれあい広場」は、年に1度(例年11月頃)開催しています。町からは琉球絣や南風原花織の機織りの実演や反物、バッグ、ウェア等の展示を行い南風原町の伝統工芸品である琉球絣・南風原花織を紹介しています。

# 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

## 4. (財)伝統的工芸品産業振興協会費 5万円

伝統的工芸品産業振興協会では、伝統的工芸品の良さを広く国民に普及し需要開拓を推進するため、伝統的工芸品月間を中心とした各種事業をはじめ、コンクールや展示会開催の他、各種媒体でのPRを実施するとともに、併せて産地の振興計画策定の指導、各種の調査研究、伝統証紙の発行等を行っています。

## 5. 琉球絣事業協同組合への貸付金 1,500万円

琉球絣事業協同組合は、国・県・町の補助金と組合員の会費で組合を運営しています。しかし、補助金や会費がすぐには入ってくるわけではありません。その間の運用資金(生産者への製品(反物)代金支払い等)として貸し付けを行っています。なお、貸付金は年度内に全額町にもどってきます。

## 6. 琉球絣の女王関連費用 113万円

ふるさと博覧会で選出された琉球絣の女王には、各種イベントへ出席してもらい南風原町と琉球絣・南風原花織のPRをしていただいています。また、琉球絣の女王がイベントに参加した際は、謝礼金をお支払いしています。



↑ 第32代 琉球絣の女王



↑ 南風原特産品のPRイベント風景